



サバティ新聞

- 神奈川秦野中井店版 -
2016.5月号

熊本地震から振り返る東日本大震災

4月に熊本県を襲った大地震。約5年前に東日本大震災があり現実とは思えない光景を目にして以来、日が経つにつれていつの間にか地震に対する意識が薄くなっていた人も少なくないのではないのでしょうか。

地震災害に遭われたみなさまに、心よりお見舞い申し上げます。

今月号は東日本大震災の際に、各国の新聞に掲載された内容やtwitterに寄せられた話をお伝えしたいと思います。この文章を読むと、私もこの人達のようにになりたい!日本が世界に誇れるのは道徳心やこの優しい心だと思います。何より日本人に生まれて良かったと思う瞬間です。そして自分自身を振り返って反省しています。

実はもっとたくさん文章はあるのですが文字に限りがあるので抜粋して私の心の永久保存版を掲載させていただきます。

災害が起こっても、自主的に秩序を保つ日本人

記事はまず、地震発生の日11日の東京都内の状況に注目。電車が止まったために多くの人々が徒歩で帰宅することになったが、「きちんと順序よく歩き、騒ぎはなかった」、「道路は渋滞したが、クラクションを鳴らす自動車はなかった」として、「巨大な無声映画を見ているような感じすらした」と報告した。

バス乗り場でも数百メートルの行列ができたが、「係員の仕事は列の最後尾の場所を教えることぐらい」「『列に並ぶように』」などの強制はまったくなかったにもかかわらず、すべての人が行列してバスを待った」と報じた。

被災地の様子は、一般ユーザーによるインターネットへの投稿を紹介。「数百人が集まった避難場所で、スタッフが走り回って毛布や湯、ビスケットを用意した。男性は女性を助けた。(人々が集まる場所で) たばこを吸う人は1人もいなかった。救援物資の配布は3時間で完了したが、ごみひとつ、落ちていなかった」と、人々が秩序を維持し、助け合いながら配布を受けた様子を紹介した。

「人に迷惑かけない」常識が、身勝手と混乱を防止

記事は、「人に迷惑をかけない」ことを重んじる日本人の考え方に注目。小学校でも「人に不愉快な思いをさせない」「人に心配をかけない」、「人をいらいらさせない」などと教育していると紹介した。日本人の自らを律する精神や「所かまわず痰や唾を吐かない」、「大声で騒がない」、「行列に割り込みをしない」、「ごみを勝手に捨てない」などの特色も「人に迷惑をかけない」の精神が生み出したものと解釈できると論じ、「少数ではあるが『細かいことにこだわらない人』もいる。しかし、周囲の状況を察して、自らを律するようになる」と記した。

「震災で家族や親友が命を奪われた場合でも、日本人は大声で泣くことが少なく、静かに運命を受け入れる」「自分が救出された場合、『ありがとうございます』と言うのではなく『申し訳ありませんでした』と言う人が多い」と紹介し、「他人に迷惑をかけてはならないとの精神が強くあらわれるのだ」との見方を示した。

当時のtwitter投稿



ヤンキーの兄ちゃんがおばあちゃん背負って避難したり、ヤクザのおじさん達が交通整備したり、見た目DQNな集団が子供の傍から離れられない親の分まで食料受け取って配ったり、連係プレーでヤシマ作戦成功させたり 日本人に生まれたことを誇りに思う。



ある自衛隊員が言った。「被災地で炊き出しをした際、たとえ余っても自衛隊員は絶対食べないで缶詰の冷たいご飯を食べます。被災地の人用にお風呂を用意しても自衛隊員は入りません。そして出来るすべての事をやったらひっそりと帰る。それが自衛隊です。」自衛隊は日本の誇りです。



会社の中国人留学生のアルバイト。中国大使館から迎えがきて「強制退去」数時間後、彼らが戻って来た。みんなで「なぜ？」彼らは「強制退去ではなく希望者を迎えに来ただけでした」と。でも「なぜ？」彼らは「私たちは仲間です。ここで一緒に頑張ります」社内は歓喜、そして号泣。



募金箱の前にて幼稚園位の男の子と母親の会話。母「貯めてたのに本当にいいの？」子「3DS我慢する。これで地震の人の家建てる。」と言ってお年玉袋から5,000円を寄付。母「偉いね。地震の人、これで寒くなくなるね。」男の子思わず号泣。後ろにいた私、大号泣。



バイト中に地震があってほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたがほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻られなかったお客さんは今日わざわざ店に足を運んでくださいました。



千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横にいた高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。



物が散乱しているスーパーで、落ちていたものを律儀に拾い、そして列に黙って並んで、お金を払って買い物をする。運転再開した電車で、混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。すごいよ日本。



原発の問題により、福島県いわき市などから数百人単位でつくばに避難者がきた。つくばのヤンキーが車いっぱい物資を積んできたのには胸が熱くなった。大変な立場にいる避難者の笑顔と謙虚さに感動。頑張ろう！



避難所で、4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に、日本人の誇りを見た。

見学・体験、随時受付中！

月	火	水	木	金
○	要相談	○	○	○

・半日型：9:00～12:15 / 13:30～16:45
 ・1日型：9:00～16:45

どんなご相談でもお気軽にお問い合わせください！

電話 **0465-46-9595**
 ファックス **0465-46-9596**



サバティ 秦野中井店

介護保険事業所番号
1471400851

〒259-0151

神奈川県足柄上郡中井町井ノ口2796-3

<http://www.cavaty.jp/>

